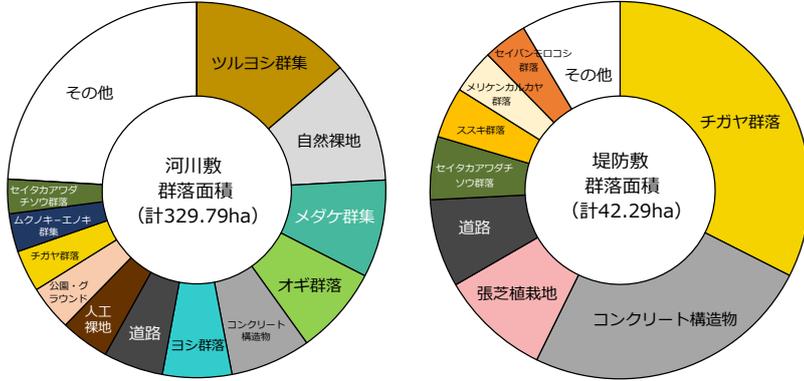


# 植 物

河川水辺の国勢調査のうち最新（H29年度）の植物調査では683種の植物が確認されています。このうち重要種（絶滅が危惧されている貴重な生物）は27種です。また、最新（R3年度）の河川環境基図調査（河川全体の植物や瀬淵の面積などの調査）では79群落（植物などのまとまり）が確認されています。

群落の面積をみると、河川敷ではツルヨシ群集、自然裸地（礫河原や干潟など）が、堤防敷ではチガヤ群落が多く分布しています。下流の汽水域では、広大な干潟の周辺にアマモ場やヨシ原、ハマボウ林などが広がり、シバナなどの貴重な塩生植物もみられます。中上流の淡水域では、ムクノキ・エノキなどの河畔林、ツルヨシやオギなどの草地、礫河原などさまざまな環境がみられ、水辺の湿地ではタコノアシやミズマツバなどの貴重な植物も生育しています。



R3年度の河川水辺の国勢調査における群落の面積割合（開放水面を除く）



## ハビタット（生育環境）



アマモ場（コアマモ群集）



塩沼植物群落（ハマボウ群集）



河畔林（ムクノキ・エノキなど）



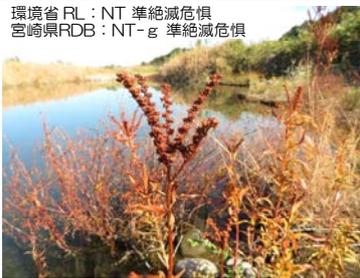
抽水植物群落（ツルヨシ群集）

## 五ヶ瀬川水系に生育する重要な生物や特徴的な生物



種名：ハママツナ  
海岸の砂地の場所などに生育しています。秋になると全体が赤く変色し、紅葉したようになります。

宮崎県RDB：NT-g 準絶滅危惧



種名：タコノアシ  
水辺の湿地などに生育しています。秋にゆでダコの足を逆さにしたような赤い花をつけます。

環境省RL：VU 絶滅危惧Ⅱ類  
宮崎県RDB：NT-g 準絶滅危惧



種名：ハママツメ  
汽水域の湿地に生育する樹木です。ナツメに似た星型の実をつけます。幼木の枝にはするどいトゲがあります。

宮崎県RDB：VU-r 絶滅危惧Ⅱ類



種名：ハマボウ  
汽水域の湿地に生育する樹木です。初夏にハイビスカスの形に似た黄色くて美しい花をつけます。

環境省RL：NT 準絶滅危惧  
宮崎県RDB：VU-r 絶滅危惧Ⅱ類



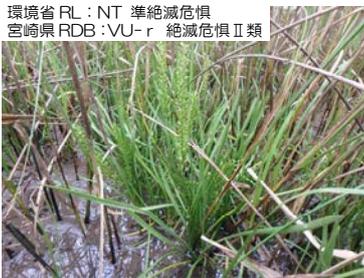
種名：ミズマツバ  
水辺の湿地や水田などに生育しています。松の葉のような小さな葉が特徴で、葉の根本に夏から秋にピンク色の花をつけます。

宮崎県RDB：NT-g 準絶滅危惧



種名：グンバイヒルガオ  
海岸の砂浜などに生育するつる植物です。葉の形が相撲で使う軍配に似ているのが特徴で、夏から秋にピンク色の花をつけます。

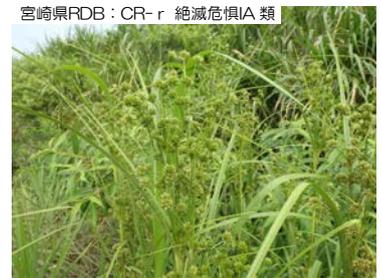
宮崎県RDB：CR-r 絶滅危惧Ⅰ類



種名：シバナ  
汽水域の泥干潟に生育しています。別名ウミノラともいわれ、葉は柔らかく断面は半円形です。夏から秋にふさ状の花をつけます。



種名：コアマモ  
汽水域の干潟や水深の浅い場所に生育しており、アカメやさまざまな魚の隠れ場になります。



種名：マツカサスキ  
水辺の湿地などに生育しています。花は小さな松笠（まつぼっくり）のような形のものを夏から秋に10~20個つけます。